



# ＜参考資料＞ 岩淵エリア サウンディング調査結果

荒川下流河川事務所

# サウンディング調査

## ● 目的

荒川知水資料館を中心とした周辺エリア（岩淵エリア）の地域資源等を活用した「賑わい創出」「高台まちづくり」を進めるため、民間事業者を対象に市場調査を実施

## ● スケジュール

✓ 調査期間 : R5年1月11日（木）～2月9日（金）

## ● サウンディング調査結果

✓ 13事業者からアンケートの回答をいただいた

テーマ	業種	回答事業者
①ドッグラン		2社
②キャンプ	キャンプ、グランピング、アウトドア用品など	3社
③水上アクティビティ	電動サーフボードなど	1社
④多目的広場	イベント、ドローンなど	2社
⑤観光	観光ツアー、インフラツーリズムなど	2社
⑥交通	バス、自転車など	1社
⑦その他	公園管理、大浴場	2社

## ● 当該エリアの地域資源等の評価と課題

✓ 岩淵エリアの地域資源等の評価と課題について以下の意見をいただいた。

### 地域資源等の評価

#### ① 立地

- ・ 荒川知水資料館からの眺望が良い
- ・ ドローンの練習場や関連イベント
- ・ 野外活動の場（マラソン、キャンプ、ドッグラン、BBQ、水上アクティビティ、花火大会など）
- ・ サイクリングやポタリング
- ・ 音楽フェスなどの大音量イベントの場
- ・ ドッグランの場（犬の散歩の場として最適）

#### ② 自然環境、教育

- ・ 都心での自然との触れ合いの場
- ・ 地域の歴史に触れることができる教育の場
- ・ 子供達と川が繋がる場所（amoaと荒川）

### 改善が必要な点・課題

#### ① 施設等の整備

- ・ 水面への足場やシャワー室、着替えをする施設
- ・ 水、電気、給排水等のインフラ整備（河川敷）
- ・ 駐車場を増やす、進入導線の確保（メイン導線の整備）
- ・ 休憩スペース、飲食施設の不足（滞留時間を増やす策）

#### ② アクセシビリティ

- ・ 駅からの利便性の悪さや案内サインの少なさ、渋滞

#### ③ 集客面（認知度向上）

- ・ イベントの告知やオープンな空気感
- ・ 採算性の確保

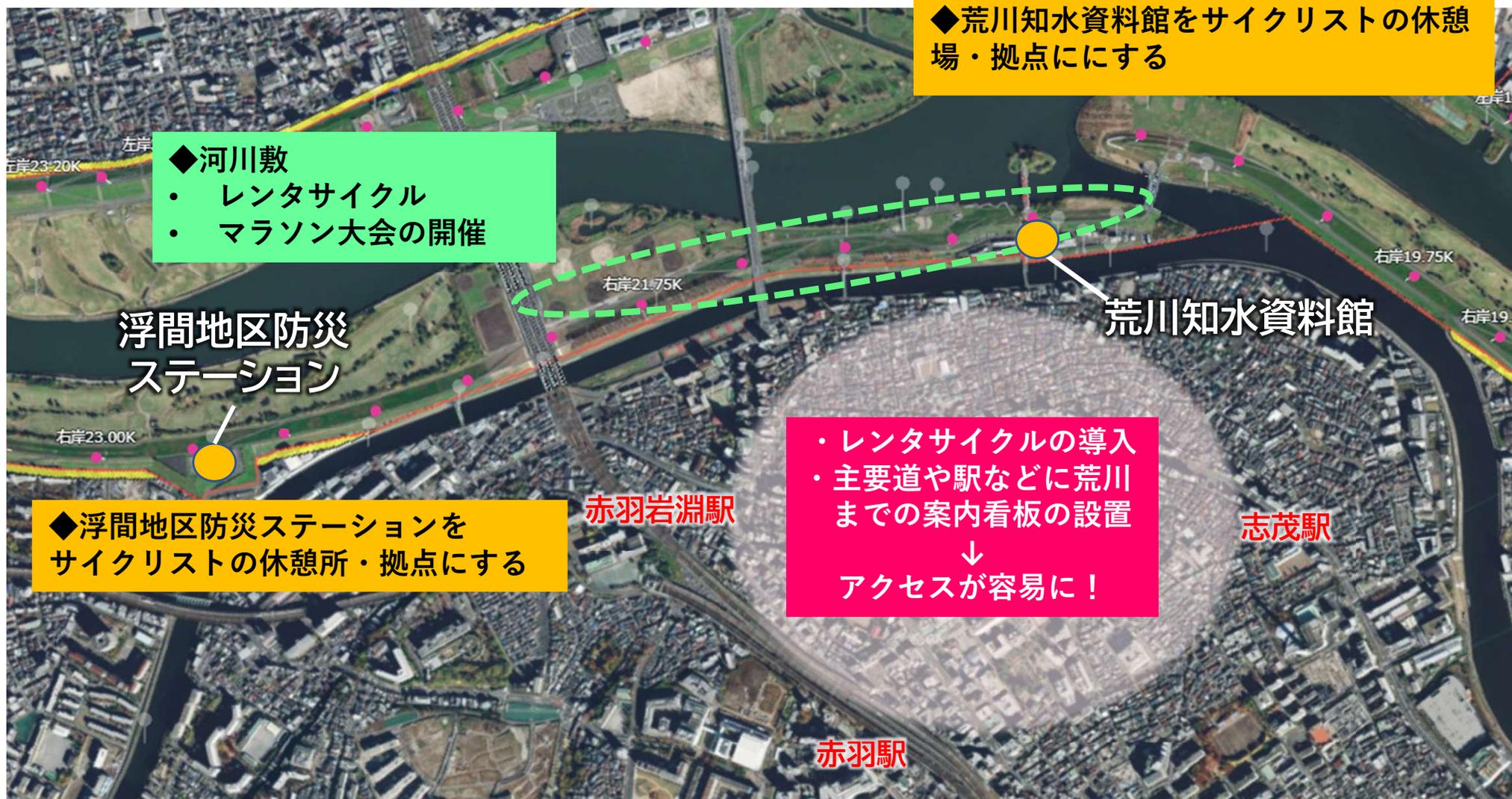
#### ④ その他

- ・ 河川占用許可の煩雑性
- ・ 増水時の緊急対応や復旧作業の役割・リスク分担

# サウンディング調査結果

## 岩淵エリアでの賑わい創出イメージ

- ✓ 広域的な視点でランナーやサイクリストなどの拠点に
- ✓ アクセス性の改善により利用者の増加を図る



# サウンディング調査結果

## 岩淵エリアでの賑わい創出イメージ

✓ エリア全体を一体的利用ができるコンテンツを盛り込んで賑わい創出

- ◆河川敷
- ・ 自転車レース、パフォーマンス
  - ・ レンタサイクル
  - ・ ドックランや愛犬マルシェ
  - ・ ドローン体験、講習
  - ・ マラソン大会
  - ・ 野外音楽フェス、イベント
  - ・ キャンプ場
  - ・ 熱気球で荒川スカイツアー

- ◆水上・水際
- ・ ガイド付きダウンリバー
  - ・ SUPやパクラフト
  - ・ 自転車を運搬できる船を活用してイベント開催

- ◆中の島エリア
- ・ サウナ&荒川で水風呂体験

- ◆岩淵水門
- ・ 操作室見学

- ◆アモア
- ・ アモアカフェ
  - 平日：コワーキングスペース
  - 休日：カフェ、BBQやドックランなど河川敷施設と一体的な利用が可能なショップ
  - ・ 荷物預かりサービス
  - ・ アウトドア学童やクラブ



充実したコンテンツで1日滞在

アクセスしやすい  
足場整備

電気や水道の整備  
シャワー、更衣室

駐車場整備  
アモアのリニューアル

□ : 占用地

# サウンディング調査結果

## ● 課題 自治体、荒川下流に求める支援など

### ■ 情報提供

- ・ 集客への協力
- ・ 水上は公共の物であり自由に使えることの周知

### ■ 制度

- ・ 問題点や課題について話し合える場や協議会
- ・ 水辺を活用したい事業者や団体、個人を受け入れられるスキームの構築
- ・ 事業者や区民が気軽に相談できる窓口の設置
- ・ 占用許可が煩雑でわかりづらいため改善を図る
- ・ 水辺活用マニュアルの整備
- ・ 管理が交錯していることによる手続きの煩雑性の改善、占用許可制度の見直し

### ■ 財政的な支援

- ・ 民間のみの管理では利益を出すことが難しい
- ・ 公的な補助金や事業予算の活用、資金支援補助

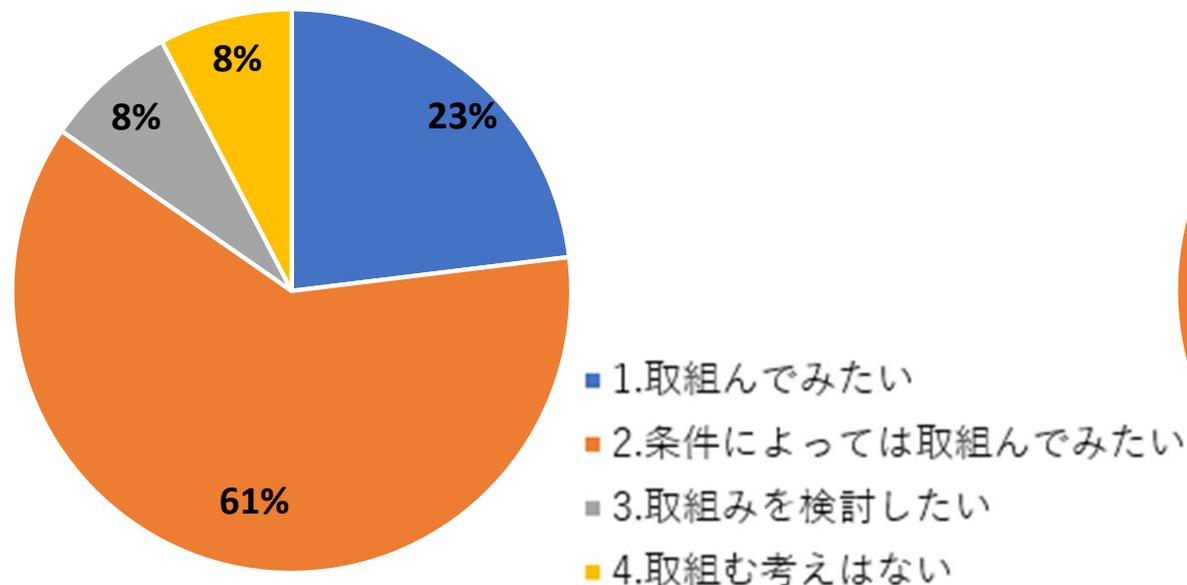
### ■ 整備（ハード）

- ・ 駐車場の拡大
- ・ 水・電気などのインフラの整備
- ・ サウナの際のシャワーや上下水の整備
- ・ amoaカフェ実施の際のWifiの整備や水回り、ベランダなどの改修
- ・ ドックラン整備の際の柵の設置、青水門の改修

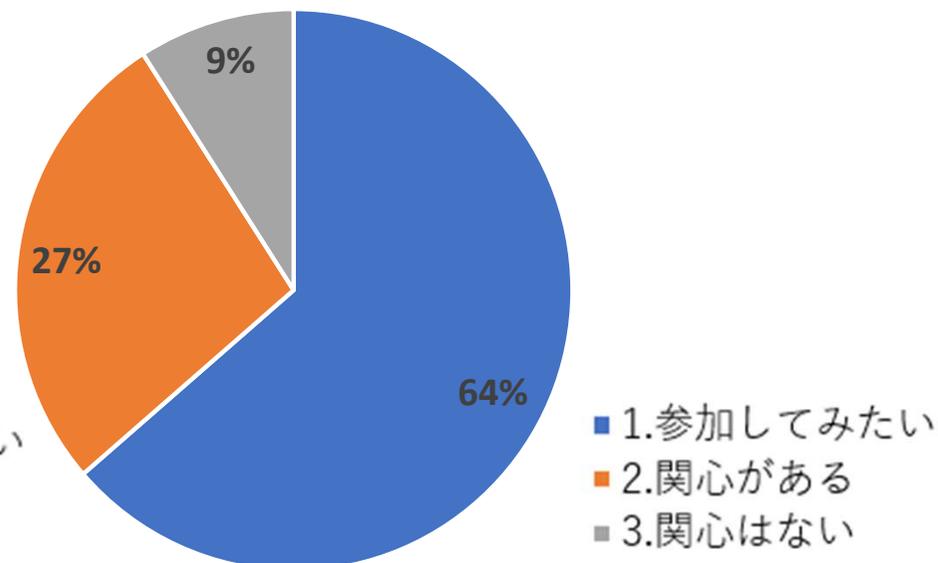
### ■ 整備（ソフト）

- ・ 施設や広場（河川敷）などの臨時開放（規制緩和）

- 賑わい創出に係るアイデアを、貴社の事業として実施することに対する考えをお聞かせください。



- 岩淵エリアでの賑わい創出に向けた勉強会へのご参加についてお聞かせください。



- ✓ アイディアを事業として実施することや勉強会の参加については、**前向きな意見**が多い結果となった。
- ✓ 「取り組む考えはない」、「関心はない」の回答については、事業規模の関係で当該事業者では取組が難しいためという理由であった。

## ● 岩淵エリアの賑わい創出事業に関する考えや意見

### ✓ 賑わい創出の進め方や制度に関して

- 短中長期的な計画が必須。
- 特定の事業を実施するための施設を整備することに留まらず、オープンスペースを活用したいと考える市民や企業を、受入可能な窓口機能や仕組みが整えられ、運用されると良い。
- 河川敷という場所柄、様々なイベントが期待できるが、占用申請等の複雑さを考えると消極的になる。こんな事ができる、これをするならこの申請が必要等、参入の仕方を明確にすれば個人事業主や小規模な企業からの提案も増えると思う。

### ✓ 荒川までの動線の改善とまちおこしについて

- 主要駅からの導線上の案内、道順をわかりやすく表記し、その導線上で、民間の店舗が個々に盛り上げていけば、新しい店舗の開業にも繋がり、町全体が盛り上がっていくことになる。行政や自治体からのトップダウンよりも、民間店舗のやる気によるボトムアップのほうが長く続くし地元も盛り上がりやすい。

### ✓ 荒川（河川敷）を生かした教育について

- アウトドアは娯楽だけでなく、シンプルにコンテンツ内容が防災に繋がるものでもあり、また教育の場面においても探求学習的な要素が多い。
- 荒川の歴史や東京の成り立ちに深く関わるストーリーを持った魅力ある場所で、子ども達の将来（夢）を育む教育活動ができれば、更に魅力的な場所になると思う。